

## 「第12回 日本口腔ケア学会総会・学術大会」で発表しました

平成27年6月27日（土）、28日（日）に山口県下関市の海峡メッセ下関にて開催された「第12回日本口腔ケア学会総会・学術大会」に参加してきました。



初日には、当センター特任助教黒川亮歯科医師が「新潟大学医歯学総合病院における大学・学部・学科を越えた口腔ケア教育の取り組み」と題し、本事業についての取り組みと成果を発表しました。他大学の先生より大変好評をいただき、手ごたえを感じることができました。

2日目は、臨床の内容で「『連携の質』の大切さを痛感した同種造血幹細胞移植の1例 -右片麻痺患者の口腔ケアを通して-」と題し、歯科衛生士の中井、田中で初のポスター発表をしました。ポスター作成にあたり、たくさんの先生方よりご指導いただきましたこと、事務の方にご協力いただきましたことを感謝いたします。



また、この学会で今回初の「歯科衛生士ワークショップ」にも参加させていただきました。病院歯科勤務の衛生士が集まり、「周術期の口腔管理」について、日々の問題点を抽出し、それについてグループディスカッションを行い、改善策を発表し合いました。問題点はどこも共通するものがあり、私達だけではないのだな…と思いました。少しでも問題点を改善し、次世代を担う医療人たちが働きやすい環境を整えていく必要があると感じました。

今回、このような機会を与えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

